

架け橋

鹿屋市教育委員会

—未来を生きる子どもたちのために挑戦する—

■この号の内容■

- 鹿屋市学習定着度調査結果
- 子ども会の活性化推進
- 学校規模適正化の取組

教育委員会より「架け橋」の第5号を発刊いたしました。今号は初めて掲載する鹿児島学習定着度調査の結果や学校規模適正化の取組の続報等について掲載しています。ぜひご覧ください！

鹿児島学習定着度調査結果(速報値)

鹿児島学習定着度調査は、学習指導要領において身に付けることが求められている基礎的・基本的な知識・技能や思考力、判断力、表現力等に関する学力状況を把握するとともに、児童生徒の学習に関する意識などの学習状況、学校の取組状況を把握することが目的です。また、各学校の課題を明確にし、教員の指導法改善や児童生徒の学力向上を図ります。本号では令和5年度の結果(速報値)をお知らせいたします。

調査概要

- 対象：小5・中1・中2の児童生徒 本市対象数：小5：1,040人 中1：1,034人 中2：1,037人
- 調査内容：小5(国・社・算・理)、中1・2(国・社・数・理・英) 児童生徒質問調査※1、学校質問調査※2
- 実施日：令和6年1月16日(火)、17日(水)

教科調査の結果 -小中各調査対象教科の正答率-

小学5年	国語	社会	算数	理科
鹿屋市	68.9	65.8	75.6	75.6
鹿児島県	68.5	65.3	74.6	75.4
差(市-県)	+0.4	+0.5	+1	+0.2

中学1年	国語	社会	数学	理科	英語
鹿屋市	75	57.3	75	67.2	76.1
鹿児島県	75.9	54.4	74.3	66.3	77
差(市-県)	-0.9	+2.9	+0.7	+0.9	-0.9

中学2年	国語	社会	数学	理科	英語
鹿屋市	65.1	61.8	66.6	64.1	68.7
鹿児島県	65.6	62.3	68.8	66.9	71.4
差(市-県)	-0.5	-0.5	-2.2	-2.8	-2.7

(単位：%)

鹿屋市の子どもたちの現状が分かります！
これからも学校と家庭が協力して子どもたちに、
確かな学力を身につけさせていきましょう！

■小学5年生■
正答率は全ての教科において鹿児島県の平均を上回る👍

■中学1年生■
社会・数学・理科が県の正答率を上回る👍

■中学2年生■
全ての教科で県平均を下回る
数学・理科・英語が特に課題⚠️

※1 児童生徒質問調査とは
学校の授業の分かりやすさや家庭での学習の様子等を探るもので、1人1台端末を使って回答しました。

※2 学校質問調査とは
授業の方法や、評価の仕方など学校教育活動全般の取組について探るもので、学校ごとに回答しました。

子ども会の活性化推進

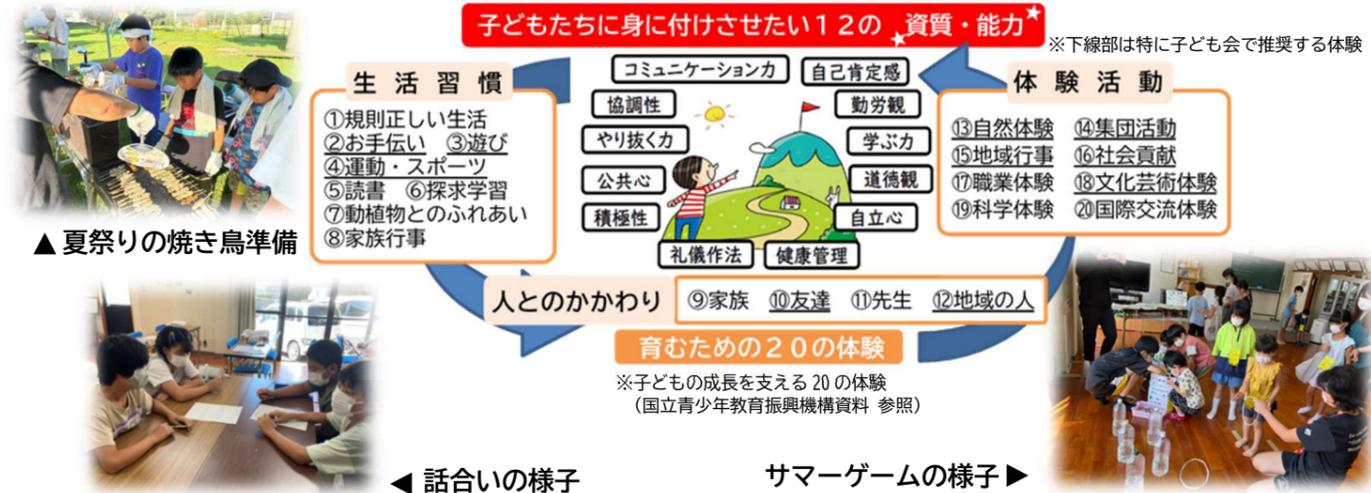
子ども会は、同じ地域や町内に住む子どもたちが、異年齢集団による様々な体験活動として、社会性や協調性、他者に対する思いやりや感謝の気持ち、地域を大切に思う気持ち等を育むことを目的とした社会教育団体の1つです。今号では子どもたちに身に付けてもらいたい資質や能力とそれらを身につけるための体験活動の必要性についてお知らせいたします。

■本市では、子どもの健全な成長のため、国の指針を基に「20の体験」を推進していきます。ここで示す体験の多くは、「子ども会」で味わえるものです。教育委員会では、子どもたちを育てるのは、私たち地域の大人の責任として、活性化を進めています！

ご加入・ご興味のある方は↓

市子ども会育成連絡協議会
☎0994-31-1138

子どもたちの成長をともに実感しませんか？



学校規模適正化の取組

前号では、鹿屋市内の児童生徒数の推移や学校規模などの現状についてお知らせしました。今号では、それらを踏まえた「鹿屋市学校規模適正化(学校再編)基本方針」の内容と、現在の取組について掲載します。

※「学校教育法施行規則」、「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律」に基づき作成

目的

社会情勢の変化や児童生徒数の減少などを背景とした様々な教育課題がある中で、子どもたちが将来にわたってより良い教育環境で学ぶことができるよう取り組むものです。

地域にとっても大切な学校。
みんなで考えていこう！

今後の進め方

適正配置にあたっては、優先順位を定め、段階的に検討していきます。

優先して検討を進める学校規模

【小学校】完全複式学級(3学級)の状況にあり、今後、解消の見込みのない学校

【中学校】3学級以下での学級編制の状況にあり、今後、解消の見込みのない学校

適正規模・適正配置の基本的な考え

区分	学級編成の考え方	標準(適正な)学校規模	適正な通学距離
小学校	1・2年生	30人	12~24学級 (各学年2~4学級)
	3~6年生	35人※1	
中学校	40人	9~24学級 (各学年3~8学級)	おおむね 6km以内

※1 現行の40人から学年進行により段階的に引き下げ。令和5年度は小4まで対象。

今後の児童生徒数の推移により検討する学校規模

【小規模校】「鹿屋市における適正な学校規模」に満たない学校規模のうち、1学年1学級以下の学校
→小学校：1校当たり4学級~6学級

【大規模校】「鹿屋市における適正な学校規模」を超える学校
→小・中学校：1校当たり25学級以上

教育委員会だよりは市ホームページにも掲載しています！

鹿屋市 教育委員会より

検索 🔍

現在、市内すべての小中学校へ本方針の説明を順次、行っています。今後は保護者や地域住民の方々に学校の適正配置の必要性について情報を共有し、理解と協力を得ながら共に進めていきます。